

(我が家の状況ですが)2017年9月から急に排ガスの臭いが部屋中にたちこめるようになりなりました。出産後や生まれた子供の手術後も重なり、健康被害が本当に心配で、本当に我慢できない臭いにつらく、また原因もわからず、悩み苦しむ SNS で全国の人に助けや助言を求めました。その後のバイオマス見学会で、その臭いの正体が判明しました。

その時の文章は添付します。

窓を開けても、閉めても床下から入ってくるバイオマス発電所からの臭いに頭痛、吐き気、嘔吐、夜中でも急に臭いだし精神的肉体的におかしくなり気が狂いそうでした。

毎日頭痛薬を飲み、吐き気に襲われました。

その後も停止、稼働を繰り返し、風向きや風の強さなど天候にも左右されますが、窓を開けると悪臭がし、窓は全く開けられない状態です。もちろん洗濯物も干すことができず、ずっと室内干しです。

床下換気口や風呂場の窓からも臭いが入ってくる事があり、頭痛薬を飲み続ける生活が続いております。

この生活がはじまり我慢に我慢を重ねてきましたが、だんだん日に日に体調も悪くなり限界を感じ病院へ行きましたところ、やはり発電所からの臭いと騒音による公害被害で間違いないと言われ、身体にかかるストレス、臭いによる片頭痛、不眠症と診断され診断書も頂きました。

このままこの生活が続くなら、いつ倒れてもおかしくないと言われ、すぐに引っ越しした方が良いと言われました。

最近は何もない、ふらつく事もできており、子供はまだ小さいので、主人がいない時に万が一私が倒れた場合どうするかを4歳の子供に何度も繰り返し話をし、2歳になったばかりの弟がいる為に外に助けを呼びに行くのは危ない為、「窓を開けて大きな声で助けを呼ぶ事」を子供と何度も話をしております。

風向きが発電所の方角からになる日が増え、毎日朝から臭いでたえきれず、家にいる事ができなくなり、子供を連れて避難をよぎなくされています。

どうして私は悪い事はしていないのに家から離れないといけないのか、逃げなければならないのか、どうして国はこのような健康被害がでる事業を許可したのか、怒りと悲しみでいっぱいです。

外を子供と散歩に出かける事が、この臭いの中不安でたまりませんし、臭いがきつい日は全く出られません。

4歳の子供はだいぶ前から臭いと言うようになり、2歳になったばかりの子供は、やたらと空や天井を見上げるようになり、話した子供から出てきた言葉が「ヘリコプター?」「ぶるぶるぶる、ずっと音する」「臭いする」

これが現実現状です。

どう思われますか?

引っ越ししてきて子供が生まれて幸せなはずの未来が打ち砕かれました。

多くの事は望んでおりません。子供と安心して暮らしたい、手を繋いで外を散歩したい、不安なく眠りたい、手術をして助かった小さな命、健康で元気で育ててほしい、ただただ当たり前の事、普通の事を申しているつもりですがおかしいですか?

黒煙、臭い、騒音、24時間寝ても覚めても頭上を飛行船、B29のような戦闘機が飛行しているかのような音がします。(←例え方が難しくこのような表現になり申し訳ありません)

特に夜になると道路の音も少なくなり住宅街でもあり発電所の音がずっとするのが気になります。

騒音、臭い、このような現状が住んでいる住民の方々を苦しめております。

こちら住宅地に実際来て頂き、下からバイオマス発電所を見て、実体験して頂きたい。この臭いの中、暮らしてみてください。

企業ホームページにはマイナス面や起こしたパーム油流出事故などは一切掲載せずにプロデュースしている、さらに同じバイオマス発電所を建設するならば被害者が増える一方では?これ以上被害者を増やしたくはないです。

こちらの要望を伝えるも基準をクリアしているとの回答ばかりで住民無視の姿勢です。

煙突は確かに少しのばされましたが、風が吹けば全く意味はありませんし、臭いはこちら住宅地へと吹いてきます。

自治会からの要望書を企業の代表に直接お会いして渡す約束をしたにもかかわらず、最終的には叶う事なく、弁護士による返答書が届き、こちら被害者住民に対して、信用毀損罪になりかねない、との文章や、受任限度を超えているものではなく、

違法性もない←との文面がつきつけられ、自治会との協定書の意味も全くなく、住民説明会での話とも全く違う現状に、言い方は悪くなり申し訳ありませんが、私達住民はだまされたとしか思えません。

苦しんでいる住民はこのままひたすら我慢しろと言うのですか？

過去事例に京都のお菓子工場の例のようにもはや基準値がどうのこうののではない問題であると思っております。

市に何度も相談するもこれ以上介入が難しいとの回答です。

国が認めた事業なので管轄外との事。

許可があると好き勝手な稼働を繰り返し、使用しないと約束していた重油を使用したり、どのパーム油が良いかなどの稼働実験を行い、黒煙を撒き散らかし、くさい臭いを発生させ、騒音を発生させ、住民の健康被害、精神疾患を発生させ、まるで住民は国や企業の人間モルモットの実験材料として軽率な扱いをうけていると思わざるをえません。つらいです。苦しいです。

日本の憲法にもしっかりと記載されている国民の基本的な人権や、環境権など全く無視されている許せない行為です。

こちらが人権を持ち出すならば企業には財産権がある←との文面もあります。

協定書を結んだのも住民サイドに迷惑はかけないと約束し、においはかすかに甘い感じの香りはあるかもしれないが問題ないレベル、音も 50 デシベル以下、などの説明や、地球環境を想ったの事業との事で結んだが、実際稼働しはじめると、黒煙、臭い(プラスチックを溶かしたような臭い？フライパンを焼いたような臭い？油が焦げた臭い？何とも表現しがたい悪臭です)、騒音、パーム油流出、それによりトイレが使えないなどのお家もあり、迷惑極まりない事ばかりです。

説明とはかけ離れた本当に最悪な現実です。

住民や市からの要望に真面目に答えてくれる事もなく、嘘の回答などを並べたり、期限をのばしたり、のらりくらりとした態度に怒りが止まりません。挙げ句のはてには、弁護士をすべて通すようにとの事。

パーム油流出事故後にもかかわらず、施設内に火気厳禁と看板があるにもかかわらず、油を取り扱っているにもかかわらず、そばで喫煙しているのを目撃。

問いただすと 2019 年 3 月 18 日(月)より全面禁煙とします。との回答。

稼働しだしてから今更ですか？

このような企業の事業、本当に安心できますか？

稼働しだしてからの現状現実、パーム油流出事故や、すでに錆びてボロボロの煙突、住宅街の真上に常に置かれている油のタンクローリー、今にも崩れ落ちてきそうな土囊の山。

もし大地震や豪雨で土砂崩れが起きたらどうしますか？

夜中無人運転中に災害が発生したらどうなりますか？

あの錆びた煙突が折れたら？

タンクローリーがこちら住宅街に落ちてきたら？などもう不安しかありません。

西日本豪雨や地震など、今もうどこの地域でいつどんな大災害が起きるかわかりません。

こちら福知山市も過去に何度も水害にあったり、阪神淡路大震災なども経験しております。

ただでさえしっかりとした管理体制ではないのに、このような災害がもし起きたら大事故ではすまされないと言う事を、もっと国も理解を示すべきであると思っております。

真下には人が住んでいると言う事、命があると言う事、もっと慎重に考えるべきではないのかと思っております。

パーム油流出事故の 2 月から今 5 月、まだマンホールをあげ下水道処理が続いております。

保育園のお散歩コースでもあり、園児がマンホールの穴をよけながら歩く姿を見ると怖さと企業への怒りが増すばかりです。

もっと真剣に考えて頂きたい。

日本ではじめての事をするのだから仕方ない、環境に良い事をしているのだから我慢しろ、諦めろと言うのですか？

騒音、悪臭、住民の健康被害が増える中、本当に良い事をされているとお思いですか？

事故や問題がおきてからすみませんでは遅いと思わないのですか？

そもそもなぜこのような日本で初の実験場のような施設を住宅街の真上に建設許可を出したのですか？

問題が起きる事を事前に予測、想定できなかったのですか？

実際稼働してみて問題が起きました。

苦しい近隣住民の思いや、健康被害は全く無視されるのはなぜですか？

こんなにつらい思いをしている住民がたくさんいるのに、私達毎月電気代から再エネルギー促進賦課金も払ってますよね、お金も払い、健康被害にもあい、臭いと騒音をなんとかしてほしいとお願いしているだけなのに信用毀損罪？矛盾だらけです。

地球温暖化対策は大切なのは本当に良くわかりますが、住んでいるまわりの国民(住民)の健康を害してまで実行する国や企業のやり方は間違っていると思わざるをえないです。

経済産業省、資源エネルギー庁のガイドラインを拝見させて頂きましたが、私達住民側からしたら、今回のこのバイオマス発電所の稼働や企業のやり方は違反だらけです。

生きる権利をなぜ奪うのですか？

呼吸をするのがつらい、眠れない、頭痛、吐き気、嘔吐、精神的苦痛、精神不安定、健康被害が出ている中、強行突破の企業のやり方に納得いきません。

協定書を交わしておきながら全く無意味な物になっている現状であり、そもそも最初の話とは全く違う現状で、自治会や住民は企業に騙された被害者です。

そのような企業に許可をだした政府、国自体も問題があります。

許可したからには実際問題起きている現状に対して責任を持つべきです。

許可しました←はい後は知りません。

では話になりません。

問題点を解決、指導できないのならはじめからこのような施設をつくるべきではない。

建設許可を出したからには責任を持ってこの問題に取り組むべきであり、この現状をしっかり把握し、具体的改善へと指導するべきである。

また改善がないなら認定を取り消すべきである。

協定書の意味も全くなかった紙切れ状態であり、国からの許可をとれていると強気の態度です。

私達住民は生きています。呼吸をしています。ロボットではありません。

提出させて頂く書類や写真などすべてしっかりと確認して頂き、早急な対応を望みます。

我慢している私達はもう待てません。我慢の限界、精神的肉体的に限界です。

生まれて間もない子供達もたくさんいます。

未来に希望はあるのでしょうか。

このような現状現実がはたして本当に身体に害がないと言えますか？

本当にもう待てません。

どうか助けて下さい。

何卒宜しくお願い申し上げます。